

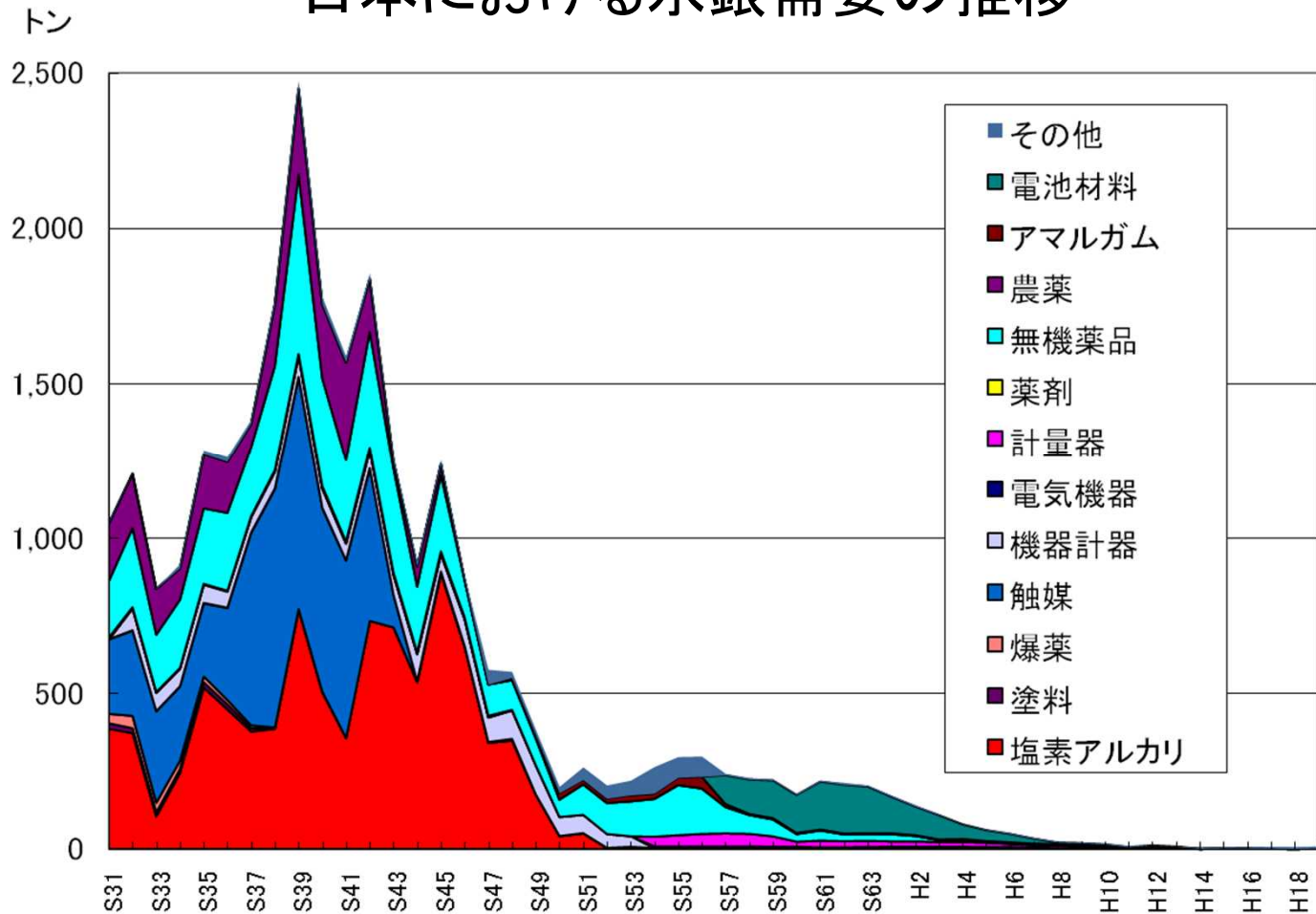
水銀条約制定に向けた 国際動向とその意義

平成24年10月13日

環境省参与
寺田達志

国内における水銀の利用状況

日本における水銀需要の推移

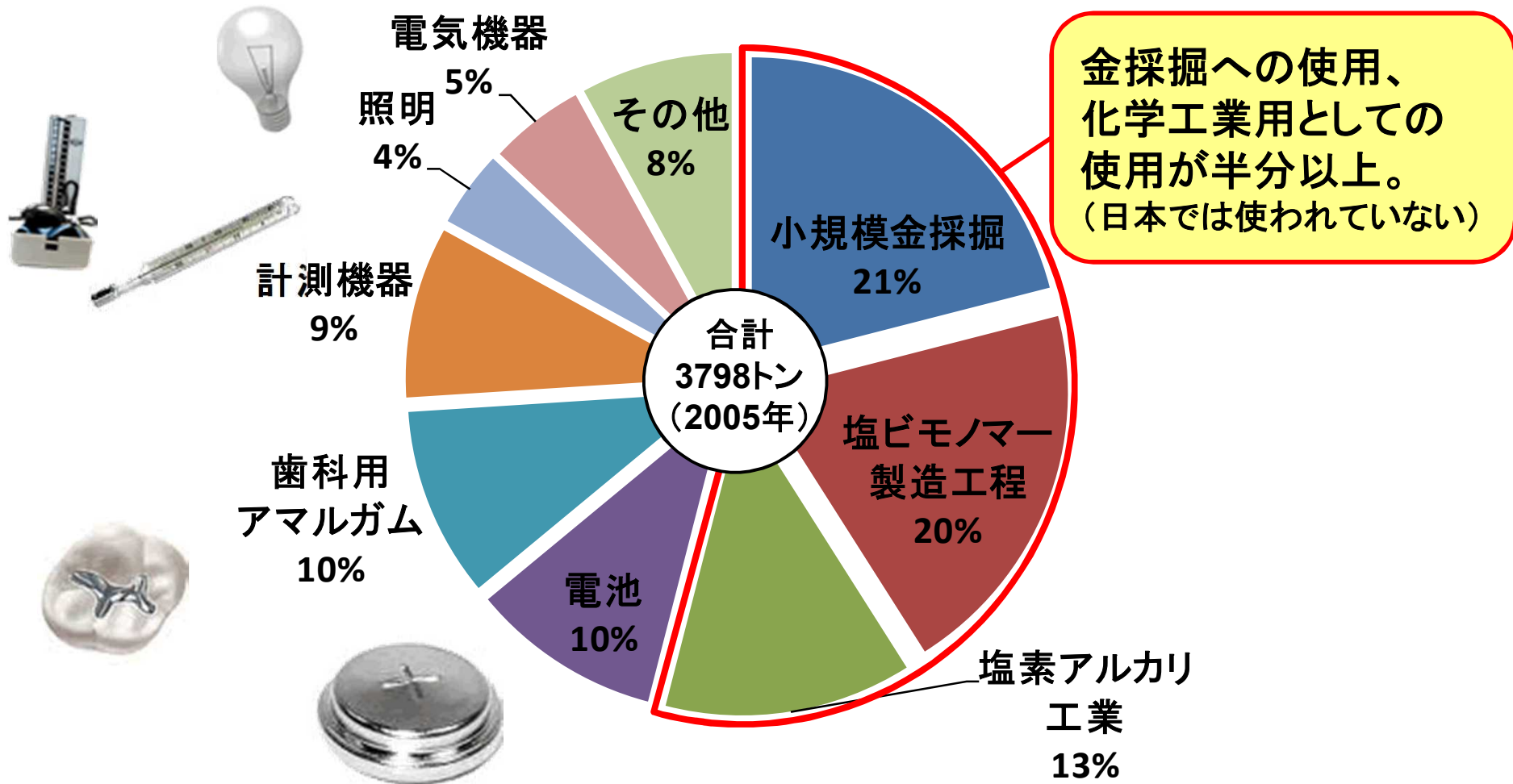


注) 蛍光ランプは昭和31年～53年は機器計器、昭和54年以降は電気機器に該当

(出典: 資源統計年報)

世界の水銀利用状況

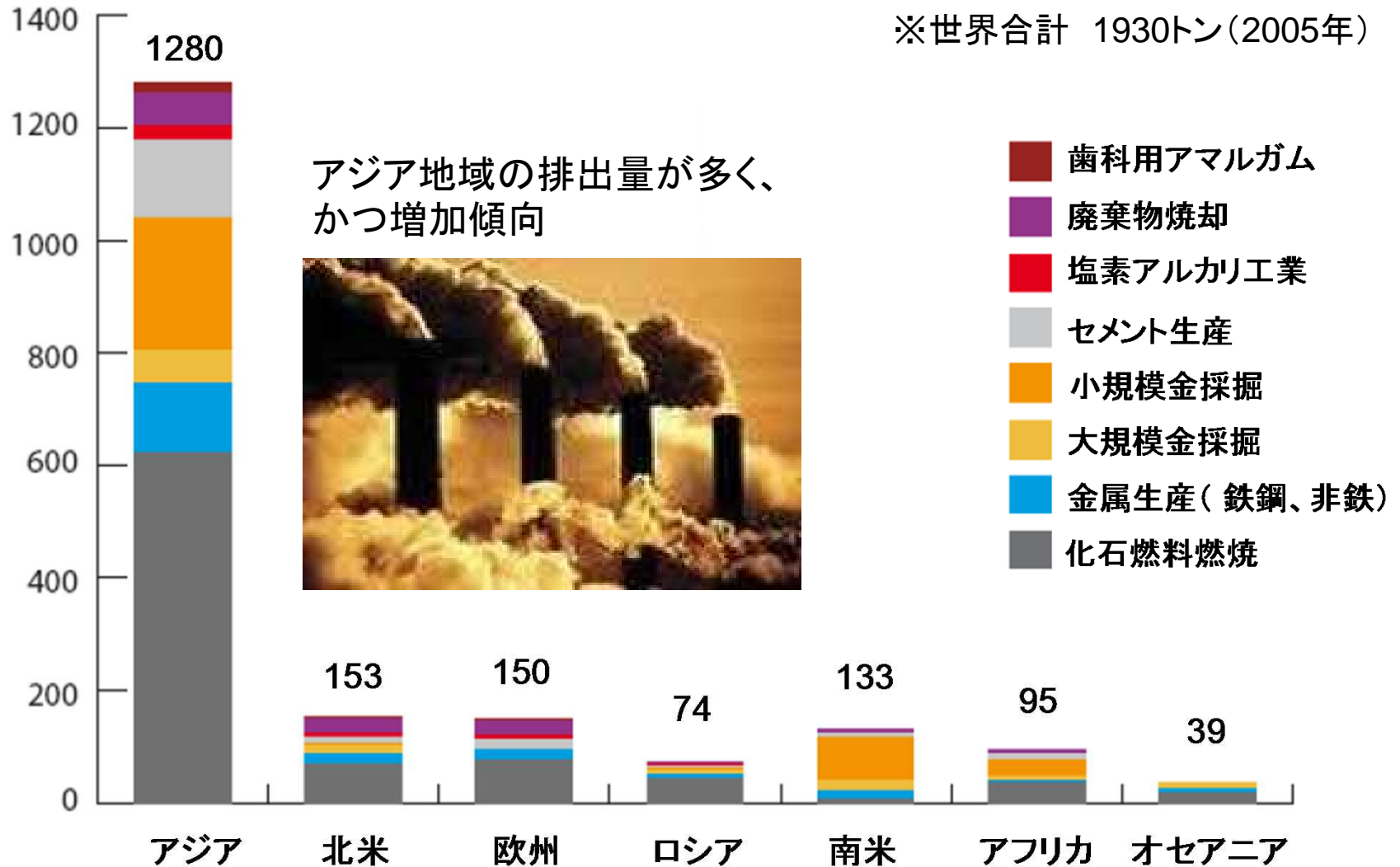
2005年の水銀需要量(国連環境計画の調査より)



世界の水銀排出状況

水銀排出量 (トン)

※世界合計 1930トン(2005年)



出典: UNEP Technical Background Report to the Global Atmospheric Mercury Assessment (2008)

(※写真: UNEP世界水銀パートナーシップのウェブサイトより)

世界各地の水銀汚染事例*

(*国水研が調査や技術移転のために研究者を派遣したところ)

《スロベニア》

旧水銀鉱山周辺における水銀の
環境中の動態調査

《ニカラグア》

旧苛性ソーダ工場残留水銀モニタ
リングに関する技術移転

《カザフスタン》

アセトアルデヒド製造
工場排水モニタリング
に関する技術移転

《モンゴル》

違法な金精錬に伴う
住民の水銀曝露評価

《中国貴州省》

旧アセトアルデヒ
ド製造
工場周辺調査・技
術指導

《ブラジル》

金採掘に伴う住民の
水銀曝露・健康評価

《カンボジア》

産業廃棄物汚染
調査

《タンザニア》

金採掘に伴う水
銀曝露に対する
技術移転

《インドネシア》

金鉱山水銀汚染調
査

水銀条約の制定に向けた交渉の開始

○2001年：国連環境計画(UNEP)が地球規模の水銀汚染対策のための活動を開始

○2009年2月：第25回UNEP管理理事会における合意

- ・ 国際的な水銀規制に関する条約を制定する。
- ・ 政府間交渉委員会(INC)を設置して、2010年に交渉を開始し、2013年までのとりまとめを目指す。

交渉における検討項目

- ・ 水銀供給の削減と国際貿易の削減
- ・ 製品及び工程中の水銀需要の削減
- ・ 水銀の大気・水・土壌への排出の削減
- ・ 水銀含有廃棄物及び汚染地に関する取組
- ・ 途上国への技術・資金支援、普及啓発 など

水銀条約交渉の状況

○第2回政府間交渉委員会(INC2、2011年1月、千葉)

○第3回政府間交渉委員会(INC3、2011年10月、ナイロビ(ケニア))

○第4回政府間交渉委員会

(INC4、2012年6月、プンタ・デル・エステ(ウルグアイ))

○第5回政府間交渉委員会(INC5、2013年1月、ジュネーブ(スイス))

- ・議長が作成した条文案に基づき議論を行い、合意を目指す。
- ・条約の採択、署名のための外交会議の開催についても、この場で各国に通知。併せて条約の名称も決定。

○水銀条約の採択・署名のための外交会議(2013年秋頃)

- ・熊本市を主会場とし、水俣市で関連行事を行う方向で環境省からUNEP事務局に提案中

我が国の基本的立場

○鳩山前総理の「祈りの言葉」(2010年5月・水俣病犠牲者慰霊式)

- ・水俣病と同様の健康被害や環境破壊が世界のいずれの国でも繰り返されることのないよう、条約づくりに積極的に貢献。



- ・条約の採択・署名のために2013年後半に開催予定の外交会議を招致し、「水俣条約」と名付け、水銀汚染の防止への取組を世界に誓いたい。

水銀条約の意義

水銀条約の意義

- 地球規模で汚染が進む可能性があり、依然として途上国で利用や排出の減少が見られない水銀について、先進国と途上国が協力して、水銀の供給、使用、排出、廃棄などのあらゆる面で総合的な対策を世界的に取り組むことにより、地球規模の水銀の人為的な排出を削減し、越境汚染をはじめとする地球規模の水銀汚染の防止を目指すもの。

「水俣条約」との名称が付されることの意義

外交会議の開催 ⇒ 開催地の地名にちなんだ条約名

- 我が国は、水俣病のような悲惨な公害を決して再び繰り返してはならず、世界の国々に対しても、我が国の経験や技術を生かして積極的な協力を行うなど国際的な貢献をしていくという平成7年の内閣総理大臣談話で示された考え方にに基づき、日本の経験を世界に発信してきた。
 - 「水俣条約」と名付けられることは、世界の人々が、水銀対策に取り組む際に日本の経験と取組を想起することにもなり、我が国の諸外国への貢献を後押しするもの
- 世界の人々に「Minamata」の名前を伝えることは、途上国等で水銀対策に関わる人々にとって、水俣市を様々な知見を学ぶ拠点とする取組を後押しし、「環境首都」を掲げる今の水俣市の取組を世界に向けてアピールする機会ともなる。

ご清聴ありがとうございました。

(参考)環境省ホームページ

水銀等の有害金属に関する国際的な取組

<http://www.env.go.jp/chemi/tmms/index.html>